

若

おん
トク



なりたち
本義は「若菜」である。若と「隠す意味を表す」との会意形声字で、描んだ若菜を隠し蔵することを表した字。

「隠れる」こと。また、「秘密」。

▼隠す。
隠匿：隠すこと。人に見付からないように隠しておくこと。
用例隠匿物資を摘発する。

4画
一
フ
元
若

おん
ヒツ



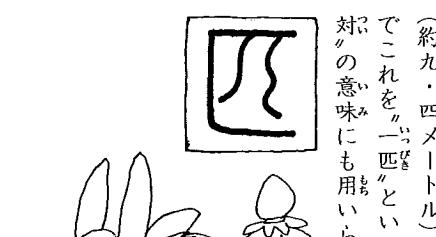
秘匿：秘かに隠すこと。他人に秘密にして隠しておくこと。
用例秘匿の妙薬（不思議に良く効く薬）。

匿名：名を隠すこと。自分の名前を隠して知らせないこと。また、本名を隠して偽名（偽の名）を使うこと。

用例匿名の人からの手紙。

匿

四



二条（じょう）の布が垂れ下がっている形をかたどつた字で、布の長さの単位を表した指事字である。一機で織られる布を一反といい、二反（約九・四メートル）が一人分でこれを「一匹」といった。

対の意味にも用いられる。

▼対（たつ）で一組の匹敵するだけの力をもつた人。「敵」は、力の対等な相手のことをいう。
用例優勝者に匹敵するだけの力をもつた相手と釣り合っていること。
匹敵：相手と同等であること。
「敵」は、力の対等な相手のこと。

916



▼動物に付ける助詞。
馬匹：馬のこと。
用例馬匹改良：動物を数える時の助数詞。

10画
一
フ
ア
フ
元
若

おん
トク



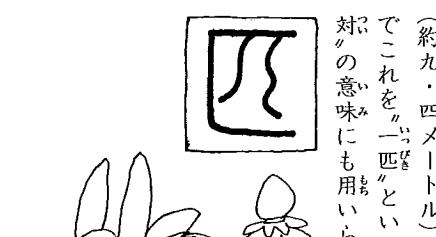
旧字体は匿。若の本義は「若菜」である。若と「隠す意味を表す」との会意形声字で、描んだ若菜を隠し蔵することを表した字。

「隠れる」こと。また、「秘密」。

▼隠す。
隠匿：隠すこと。人に見付からないように隠しておくこと。
用例隠匿物資を摘発する。

匿

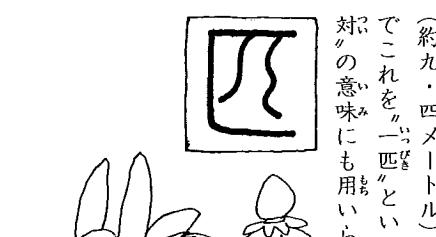
おん
トク



二条（じょう）の布が垂れ下がっている形をかたどつた字で、布の長さの単位を表した指事字である。一機で織られる布を一反といい、二反（約九・四メートル）が一人分でこれを「一匹」といった。

対の意味にも用いられる。

▼対（たつ）で一組の匹敵するだけの力をもつた人。「敵」は、力の対等な相手のことをいう。
用例優勝者に匹敵するだけの力をもつた相手と釣り合っていること。
匹敵：相手と同等であること。
「敵」は、力の対等な相手のこと。



二条（じょう）の布が垂れ下がっている形をかたどつた字で、布の長さの単位を表した指事字である。一機で織られる布を一反といい、二反（約九・四メートル）が一人分でこれを「一匹」といった。

対の意味にも用いられる。

▼動物に付ける助詞。
馬匹：馬のこと。
用例馬匹改良：動物を数える時の助数詞。



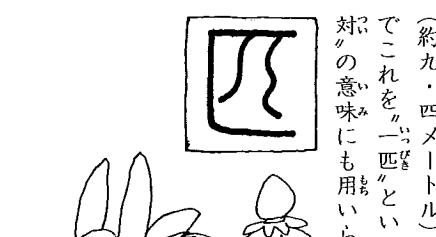
本義は「若菜」である。若と「隠す意味を表す」との会意形声字で、描んだ若菜を隠し蔵することを表した字。

「隠れる」こと。また、「秘密」。

▼隠す。
隠匿：隠すこと。人に見付からないように隠しておくこと。
用例隠匿物資を摘発する。

匿

おん
トク



二条（じょう）の布が垂れ下がっている形をかたどつた字で、布の長さの単位を表した指事字である。一機で織られる布を一反といい、二反（約九・四メートル）が一人分でこれを「一匹」といった。

対の意味にも用いられる。

▼対（たつ）で一組の匹敵するだけの力をもつた人。「敵」は、力の対等な相手のことをいう。
用例優勝者に匹敵するだけの力をもつた相手と釣り合っていること。
匹敵：相手と同等であること。
「敵」は、力の対等な相手のこと。

917



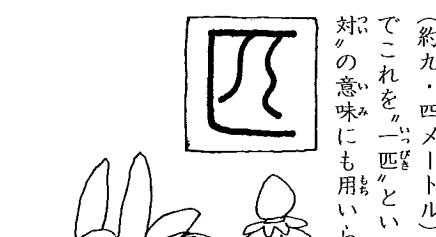
本義は「若菜」である。若と「隠す意味を表す」との会意形声字で、描んだ若菜を隠し蔵することを表した字。

「隠れる」こと。また、「秘密」。

▼隠す。
隠匿：隠すこと。人に見付からないように隠しておくこと。
用例隠匿物資を摘発する。

匿

おん
トク



二条（じょう）の布が垂れ下がっている形をかたどつた字で、布の長さの単位を表した指事字である。一機で織られる布を一反といい、二反（約九・四メートル）が一人分でこれを「一匹」といった。

対の意味にも用いられる。

▼対（たつ）で一組の匹敵するだけの力をもつた人。「敵」は、力の対等な相手のことをいう。
用例優勝者に匹敵するだけの力をもつた相手と釣り合っていること。
匹敵：相手と同等であること。
「敵」は、力の対等な相手のこと。

916